

带状疱疹



町ホームページ

裏面も必ずご覧ください

令和5年10月／お知らせ

たいじょうほうしん

予防接種ワクチンの費用助成

町では、带状疱疹予防接種の費用の一部を助成します。この予防接種は予防接種法に基づかない任意の予防接種です。ワクチンの効果と副反応などをよく理解した上で、接種する本人の判断で接種してください。



… 带状疱疹とは …

子どもの頃に水痘(みずぼうそう)にかかると、治った後もウイルスが体の中に長期間潜伏し、加齢や疲労によって免疫が低下した際などに「带状疱疹」として発症します。带状疱疹は、水ぶくれを伴う発疹が、帯状に出現する疾患です。

皮膚症状が治った後も、長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛(PHN)になる可能性があります。原因となる水痘・带状疱疹ウイルスに対しては、成人の9割以上が抗体を持っていることから、既にほとんどの人が感染していると考えられ、誰もが带状疱疹を発症するリスクがあります。

対象者

接種日時点で町に住民登録のある満50歳以上の人

- ※令和5年9月30日以前に受けた接種は対象外。
- ※助成制度を利用できるのは一生涯に一度限り。

ワクチン	乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビケン」	乾燥組換え带状疱疹ワクチン 「シングリックス」
種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1回	2回 (2回目の接種は、1回目の接種から2か月後、遅くとも6か月後までに接種する)
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
有効性	50～59歳:69.8%※1 60歳以上:51.3%※2	50～59歳:96.6% 60～69歳:97.4% 70～79歳:90.0% 80歳以上:89.1%※5
予防効果	5年程度※3	10年以上(11年日以降は延長試験を実施中)※5
副反応	<p>●頻度10%以上の副反応●</p> <p>発赤(44.0%)、そう痒感(27.4%)、熱感(18.5%)、腫脹(17.0%)、疼痛(14.7%)、硬結(13.5%)</p> <p>●重大な副反応(いずれも頻度不明)●</p> <p>アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎</p> <p>※4</p>	<p>●頻度10%以上の副反応●</p> <p>疼痛(79.1%)、発赤(37.4%)、腫脹(24.2%)、筋肉痛(36.9%)、疲労(34.6%)、頭痛(28.3%)、悪寒(21.4%)、発熱(16.7%)、胃腸症状(12.0%)</p> <p>●重大な副反応(いずれも頻度不明)●</p> <p>ショック、アナフィラキシー</p> <p>※6</p>
接種できない人	<ul style="list-style-type: none"> ・明らかに発熱のある人(37.5℃以上) ・重篤な急性疾患にかかっている人 ・水痘ワクチンに含まれる成分で過去にアナフィラキシーを起こしたことがある人 ・妊娠している人 ・明らかに免疫機能に異常のある疾患がある人及び免疫抑制をきたす治療を受けている人 ・その他、医師が不相当と判断した人 <p>※4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明らかに発熱のある人(37.5℃以上) ・重篤な急性疾患にかかっている人 ・带状疱疹ワクチンに含まれる成分で過去にアナフィラキシーを起こしたことがある人 ・その他、医師が不相当と判断した人 <p>※6</p>
接種費用(目安)	5,000円～8,000円程度/回	20,000円～25,000円程度/回
助成金額	4,000円/回(上限1回)	10,000円/回(上限2回)

※参考:※1 海外データ Schmader KE,et al.Clin Infect Dis.2012;54(7):922-928 ※2 海外データ Oxman MN,et al.N Engl J Med.2005;352(22):2271-2284
 ※3 海外データ Schmader KE,et al.Clin Infect Dis.2012;55(10):1320-1328 ※4 乾燥弱毒生水痘ワクチン添付文書
 ※5 国際共同第Ⅲ相臨床試験.ZOSTER-006・022・049 ※6 乾燥組換え带状疱疹ワクチン添付文書

1 申請 助成を受けるためには、町指定の予診票が必要です。

保健センターへ『予診票の交付申請』をする。申請方法は次の①②のいずれか。



① 電子申請

QRコードから電子申請画面へ
▶受付時間 24時間いつでも



② 窓口(来所)

邑楽町带状疱疹予防接種費用助成金交付申請書を保健センターへ提出する
▶受付時間 平日午前8時30分～午後5時15分

申請書は保健センターの
窓口にあります

①の場合

受付後に発行し郵送します
(到着まで10日間程度)

②の場合

その場で発行し、
お渡します

町発行の「予診票」と「接種済証」を受け取る

接種する実施医療機関に予約をする

2 接種

館林市邑楽郡内の実施医療機関で接種した場合

- ① 医療機関が請求する接種費用額から助成額を差し引いた額を医療機関で支払う。
- ② 医療機関から「接種済証」を受け取る。

※不活化ワクチンを接種する場合、2回目接種でも同じ「接種済証」が必要になります。接種が完了した後も大切に保管してください。

館林市邑楽郡内の実施医療機関で接種した方が、手続きは少なく済みます。

※接種費用額は医療機関によって異なります。各医療機関へお問い合わせください。



館林市邑楽郡以外の実施医療機関で接種した場合

- ① 医療機関で接種費用額の全額を支払う。
- ② 医療機関から「予診票」と「接種済証」、「領収書」を受け取る。

※領収書や明細書に以下の項目が記載されていることを確認の上、大切に保管してください。

- ①被接種者氏名 ④接種金額
- ②接種日 ⑤接種医療機関名
- ③接種ワクチン名

- ③ 保健センターへ「償還払い交付申請」の手続きをする。

※必要書類(全て原本)

- 予診票 接種済証 領収書

「償還払い交付申請」の方法

1 申請

▶申請期限 接種日の属する年度末日 ※不活化ワクチンの場合は、2回の接種完了後に申請を。

②で受け取った「予診票」と「接種済証」、支払額を証明するもの(領収書や明細書)を添えて、保健センター窓口で申請する。

2 審査

償還払い交付申請から交付決定までは1~2か月程度要します。

3 交付

交付決定通知書と助成額分の地域通貨「コハクペイ」が交付される。

交付決定通知書とコハクペイは申請者住所に郵送(簡易書留)でお送りします。申請者がお受け取りできず、保健センターに返送されてきた場合、再度郵送はできません。この場合、保健センター窓口でのお渡しになります。発送日から6か月を経過してもお渡しできない場合は、助成金は取り消されます。

償還払いでの交付は
地域通貨「コハクペイ」
(現金ではありません)



虚偽の申請や不正な手段により助成金の交付を受けた場合、当該助成金の全部又は一部について、現金で返還していただきます。